



がんばる 青年部

地産地消への思いを看板に！ 立て看板作り

青年部は、農業のある地域づくりの大切さを地域住民や農業関係者にアピールする活動として、各支部が「立て看板運動」に取り組んでいます。

北上地域青年部では、8月20日から北上地域営農センター（北上市流通センター）で作業を始めました。図案は、生産者を身近に感じさせ、地産地消を進めることで地域が発展していくことを連想させるイラストを配置。浅田貴浩委員長は「今年



あぜみち前に看板を打ち立てる盟友たち

は『つながり』をテーマにした。生産者と消費者が近い距離で繋がることで、地産地消が地域に根付く。看板

を見た人を通じて広めることができれば」と話しました。制作した看板は、きたかみ産地直売所「あぜみち」前の道路沿いに掲示しています。



完成した看板の前に笑顔を見せる盟友

各支部が描いた看板は、県青協が主催するコンクールに応募します。厳正な審査のもと選ばれた作品は全国コンクールに出品されます。

青年部のポロシャツが完成！

「青年部全体で揃えたポロシャツがほしい！」そんな声を受けて今年、青いポロシャツを作りました。「統一感があっていいね」と好評です。



心を耕し未来へ 食と農の掲示板

地元の若手農家が作った旬の桃でジャム作り！
～地域住民と女性部「デイジー」設立～



凍らせた桃ジャムで作ったシェイク



包丁を上手に使って桃を切ったよ



みんなで作ったジャムを瓶に詰めたよ

完成した桃ジャム！おいしく出来ました！

女性部花巻支部の若い世代で構成するグループ「びじゅっぷす」は、地域住民を会員に加えた「デイジー」を新たに立ち上げ、JAを身近に感じてもらう新たなJAファンの創出を目指して、料理交流会やハンドメイド、趣味活動など、メンバーがやってみたくを形にしていこう活動を展開しています。

8月19日には、本店農産加工室で7組の親子を含む22人が参加して「桃ジャム作り」を開催。桃は地元の若手生産者が栽培しているものを使用し、当日は生産者自身にも参加してもらい、農家の思いや栽培方法、品種

の説明などを参加者に伝えながら、共にジャム作りを行いました。また、参加者した大人は子どもたちに教えながら約150個の桃から種を取り、果肉を鍋で煮て、果肉たっぷりのとろりと美味しいジャムを完成させました。

息子の航大くん(3)と参加した多賀谷禎子さん(43)は「子どもと一緒に楽しめる活動は魅力的。参加した皆さんと一緒に面倒も見てくれて助かった。お父さん方の参加も多くて開放的な雰囲気だった。農家さんと一緒に作れる機会も貴重で、JAならではの活動で楽しかった」と笑顔を見せました。